

賀正

本年もご清栄を祈ります

お願いいたします



元旦

カントリー工房



“さるぼぼ”で新年のご挨拶です

あけましておめでとうございます。おだやかに明けた元旦ですが
みなさんに
は希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年は“さるぼぼ”のスタンドパネルでご挨拶です。さるぼぼ
は岐阜県飛騨地方に昔から伝わる人形。飛騨弁で赤ちゃんのこ
とを「ぼぼ」と言い、「猿の赤ん坊」という意味です。

全身真っ赤な姿が印象的、昔は赤色が疫病を払ってくれる
色とされ病気や災いから守る“お守り”とされていました。

2003年の夏、思い立って妻と出かけた富山県八尾の
“おわら風の盆”鑑賞の宿は2泊とも県境に近い飛騨古川でした。前年
に放
送された連続テレビ小説『さくら』効果で賑わう町並みの、ひょいと立ち寄った店で見つけ
たのがこの“さるぼぼ”。「行った証拠だよ…」とおみやげにしたのを思い出しています。

カントリー工房は今年も“仕事も遊びも一生懸命”を実践します。良いおつきあいを…。





椎名さん 田布施滞在4時間の“小さな旅”

田布施町まるごと公園化プロジェクトと田布施町の共催で開催した『椎名誠講演会』には県内はもとより東京・京都・大阪・広島・福岡など遠くから来られた方もあり、会場は370名もの人で埋めつくされた。



椎名さんは昼過ぎに田布施駅に降り立ち、出迎えた田川さんと『克本店』のおいしいうどんで昼食、開演30分前に『椎名誠 旅する文学館』開催中の田布施図書館を訪問、展示物に目を通し15分前に会場のサリジェに到着…と、分刻みのスケジュールをこなした。

ブルーベリーの鮮やかな紅葉を生けた演壇に立った椎名さんは1988年に田川さんと行ったタクラマカン砂漠の話からスタート、各国を巡っての興味ある話

など、タイトルの“風景がおしえてくれたもの”に

分だった。ロビーで販売した著作“とつ

ーズ100冊は早い時間に完売

の「楼蘭探検記」を展示した

出来て予定時間をかなりオー

ふさわしい内容の中味の濃い90

げき！シーナワールド！！”シリ

した。サイン会は椎名さん撮影

ロビーで開催、長～い行列が

バーする人気だった。



帰りの電車の時間に余裕を椎名さんを整備中の“大岩公園”に案内しよう…と計画し行けそうだと田川さんの車細道を歩きながら椎名さんは大喜びだった。見学を終えて車は田舎道を田布施駅に急いだ。



とったのには理由があった。園”に案内しよう…と計画し行けそうだと田川さんの車細道を歩きながら椎名さんは大喜びだった。見学を終えて車は田舎道を田布施駅に急いだ。

(大岩撮影はKRY 佐々木さん)

ありがとうございました

こうして椎名さんの滞在4時間の小さな旅は田舎町に大きな感動と確実な足跡を残して終わった。過密なスケジュールを割いてくれた椎名さん、お聴きいただいた多くの方々、下見や展示に来ていただいた『旅する文学館』館長の大西さん、田布施図書館職員の方、朝早くから会場を準備してくれたスタッフ、生け花系の河内さん、受付や書籍販売の女性の方々…、みなさんに深く感謝します。ありがとうございました。



ペレットストーブ情報

Country Factory



テルモロッシの新製品が登場です



コンパクトながら抜群の暖かさと洗練されたデザインを誇るイタリア製ペレットストーブ『テルモロッシ』に新製品4機種が登場、今月下旬から国内販売がスタートする。その中から2機種をご紹介します。

◆ **Mon Amour (モナムール)** = 暖房出力：2.8 ~ 6.7kw・暖房目安 17畳・ペレットタンク容量 15kg・サイズ 418 × 487 × 972。ガラストップが特徴、ここに「Dinner」(オプション)を被せて使うと保温調理が可能。色はホワイト、レッド、ブラック。324,000円。(写真左)

◆ **DORICA (ドリカ)** = 暖房出力：4.3 ~ 11.4kw・暖房目安 29畳・ペレットタンク容量 19kg・サイズ 560 × 645 × 1114 (写真右)。円形が部屋にやすらぎを演出する。メタルカラー 594,000円、マヨルカタイル張り 680,400円。価格はいずれも税込。カントリー工房には **Mon Amour (モナムール)** を設置する予定。暖まりにお出かけください。(サイズはmm)



イベント情報



雨あがりの『キャンドルナイカフェ 2015』

こりゃあ今夜は降るでえ…、と言いながら朝9時から始まったテントの設営は町の若手職員8名のテキパキとした作業で予想以上に早く終わったが、昼前から降りだした雨はハンパ



じゃなく、屋根の継ぎ目から滝のように流れ落ちる雨を見てみんなが「中止」を考えていた。

ところが誰が晴れ男だったのか、夕方近くになって雨はあがり、予定通り開催することが出来たのは幸運だった。

お客さんも思ったより多く、いも煮やピザ、ブルーベリータルト、コーヒーなどを前にアロハ・オハナのXmasフラやわざわ滋賀から来てくれた大西さんの和ろうそく手掛け実演などを楽しんだ。

今年からテント囲いがシースルー、外から全体が見えたのもイイ雰囲気だった。お出かけいただいた方々、ありがとうございました。





新聞のコラムが終わりホッとした気分で迎春



ない文章

山口新聞のコラム『東流西流』に11～12月の2ヵ月間、週1回投稿していたのが年末の29日で終わった。私の担当は火曜日、締め切りは前の週の金曜日。このWoody Newsは書くことが少ないときは写真を大きくすれば格好がつくが、530字、タイトルは6文字以内…と決められた枠内に収めるのはちょっと難しかったが、なんとか責任が果たせてホッとした新年を迎えることが出来た。

10年ばかり前に書いたときは行き当たりばったりの話題で脈絡のない文章だったが、今回は“TMKプロジェクト”の誕生から現在までを順を追って書いた。会った人から「毎週楽しみに読んでいますよ」と言われるとお世辞とわかっていても嬉しいもの。これが背中を押してくれたように思っている。お読みいただいた多くの方々、駄文におつきあいいただきありがとうございました。



新春クイズは“ヒノキカレンダー”

「すみません、ミスが…」、以前もご紹介したヒノキカレンダーの電話、シールを送ると言う。暮れの12日のことだった。ええ～っ、近くのお客さんにはすでに配っていたし、発送作業の最中だったがシールを待つことにした。到着したシールは9mm角の小さなもの、1枚貼ってみたがかえって目立つし、大変な時間がかかるのでそのまま配ることにした。

このミス、どこかわかりますか？。正解者5名にこの記念すべきヒノキカレンダーをお贈りします。15日までにハガキかメールで正解をお寄せください。先着順とします。



製造元か



夕日ツアー写真コンテストの結果です



10月に開催した“第4回 うましま夕日ツアー”の写真コンテストには15名の応募があり、柳井市の写真家 岩谷昇平さんに審査をお願いした。「今年の作品は甲乙つけがたい…」と彼が選んだ4点の中から最優秀賞と佳作3点が決定した。最優秀賞に輝いたのは山本初子さん（下関市）の『夕日とおじさん』（写真）、佳作は田布施町の小川大貴、山本恵美子、山田初恵さんの3名。山口新聞紙上でも紹介された。（敬称略）



薪ストーブの炎と温かいコーヒーが待っています

カンントリー工房は5日までお正月休みをいただきます…、と言っても私はほとんどを薪ストーブを焚いた暖かい事務所で“別荘気分”を満喫します。国道を通られる方、近くにお越しの方、ぜひお立ち寄りください。温かいコーヒーでお待ちしております。入口の木札が『でています』になっていたらお電話ください。



今月もお読みいただきありがとうございました。今年もよろしく。（岡部 正彦）

